



第二十月十日刊

常磐論壇
善惡の標準と飲酒の是非
 帆足理一郎 (五)

酒の如きは即ちそれだ。それは飲酒が惹起す處の社會的害悪が、その利得に比較して、刻底天地雲壤の差も替ながら懸隔をもつてゐるからだ。乞ふ少しく之を指摘しよう。

私は或る『時禁酒亡國論』なるものが相當知名の士によつて論ぜられるのを聞いたことがある。これは禁酒の社會的愚果を惡れての議論である。けれどその論據

とする所は誠に笑ふべきもので、曰く「吾等國民が大に酒を呑めばこそ、政府の歳入として酒税が二億四千萬圓もあるのだ、酒なかりせば、國家の財源を如何せん」と主張するのである。彼等は税金を拂つて酒を呑む、これ愛國行爲なりと信じてゐる。あゝ何たる狂愚ぞ!

我が日本は毎年五百四五十萬石の清酒を醸造し、この外焼酎、味淋等六十萬石、麥酒八十萬石、洋酒の輸入二三百萬圓、酒類全部の消費高は實に十五億圓に昇るとのこと。この十五億の巨額を毎年濫費して、その内

から僅に二億四千萬圓の税金を拂ふ。それが果して國益であるか。これが一家の場合に假想せよ。主人が一圓五十錢をもつて飲酒に掛ける時内二十四錢を家政の費用として細君に與へる。假定せよ。彼が果して家に忠なる夫であるか。又文部省の豫算は酒税收入の半額に當るが、子供等は母が得た廿四錢の半額十二錢が自分等の教育費になるのだから、教育費をうるために、父が益々酒呑みになればよいと思ふであらうか。

(つづく)

看護婦派出所
 の求めに應ず
平看護婦會
 平町南町 電話三〇七番

平町紺屋町(縣社通り)
イワキ食堂
 味の評判
 オの部電話四六〇番

十字屋洋服店
 其地變つた新形洋服を澤山取揃ひてあります
 平停車場前通り

揃ひました
 いろいろな
新形洋服が
 値段は昨年より二割安
 立襟上下 拾圓ヨリ
 脊廣三組 十三圓五十
 錢ヨリ
 オーパー 六七圓位ヨリ

拾日より封切の典雅優婉の四篇
 帝キネ作品、監督山下秀一
嵐狂藏主演
三日月 全拾卷
 帝キネアシヤ作品
 歌川八重子、藤間林太郎主演
とんだ妻難 卷六
 マキノスタヂオ作品
 松尾文人、井上潔主演
 珍豆 **太閤記** 卷五
 マキノプロダクション
 超特作品
 鈴木澄子の毒婦亂劇
妖婦 卷八
 帝キネ **有聲座**
 マキノ

ゴム底足袋
 久耐 保險
學生洋服
 其他小間物、化粧品、メリヤス、帽子、カバン、玩具

わた値段と品質で
 平五丁目

診察無料
 如何なる重患でも直ち癒る三二日目の大谷へ御出下さい

院長 博士 敬白
大谷時計病院
 電話一九番

開業廿週年 謝恩大賣出し
 昭和二年十二月三十日より
 全三年四月七日まで百日間
 賣出期間百日を通じて金百圓御買上の**金**印特製醬油
 御方には**金**九升入壹樽
 金七十圓御買上には四升入一樽進呈
 玩具、問屋、**森下商店**
 文具、書籍、糸類
 平町一丁目 末屋號

モリヤ
 御満足を得る
 電話三五三番

住友生命の五大特長
 經營者、確實ナル事
 責任準備金、多キ事
 住友生命、積立金、我國テハ第一位ヲ占メテ居リマス
 保險料金、低廉ナル事
 親切ニシテ寬大ナル事
 配當金、多キ事
 住友生命ハ實ニ金ニ對スル適當ナルキマセン
 カラ利益ハ全部契約者ノモノニナリマス
 絶大ナル信用——確固タル經營——全クノ契約者本位
 平代理店 金成泉一郎
 平町材木町 (電話七〇四番)

着ナフトール
 尺モスリン
 模様 銘仙
 平町 龜田屋
 電五七

後援廣告
松本孫右工門
 先生の當選を期す
明治大學揚明會
松本先生後援學生聯
明石城青年革新會

高久病院
 院長 醫學士 高久 忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
 平町田町 電話五一三番

飲むにすぐキク
クノ一散
 齒痛、神經痛、頭痛の特効藥
 平町各藥店に販賣す
 試みられよ、

磐城病院
 平町田町本通り
 入院隨時(電話二一四番)

名特 入手價 拭供
吉田屋 染工場
 福島縣平町五丁目
 (電話五五八番)
 (振替仙台五三二八番)

徒弟入用——十三四歳位ノ者四五名——
 内科、外科、婦人科、小兒科、花柳病科

夫々自派に……

有利な夢を描いて

政戦は正に第二期戦

各黨は死力をつくす

總選挙の期日もいよいよあと十餘日に迫つて来た第一期戦に於て既成政黨の惱みであつた候補者の詮衡公認問題も大体片づきすでに正式届出をなしたのも千名を突破せんとする情勢である、供託金没収の關係で九日中には辞退するものも手續を取り泡沫候補者の整理も一段落を告げ眞に普選の意義ある政戦はこゝに第二期に入るこゝとなつた、選挙第一主義の下に關西方面に第一聲を揚げた田中首相は續いて各地に出動すべく閣僚またこれならび政府側必勝の氣勢を張らんと大童で民政黨また濱口總裁、床次顧問はじめ領袖連こそつて遊説の途に上らんとし猛烈なる第二期戦の幕は開かれた、無産各派は専ら言論戦に主力を集中し得意の戦術で既成政黨の牙城に迫り、全國を擧げて言論戦とこの間を彩るボスタービラの宣傳戦とで一刻白熱の度を加へつつある、しかして各派また既に大勢の豫断によけり夫れ、自派に有利な夢を描いてゐる

選挙の公正を期する平署

中警察署では總選挙も愈々切迫して来たの下之が取締の徹底を期す事となつて居るが何しろ今回の國民多年の要望である普選最初の選挙なので最も意義ありしめねばならぬといふ處から更に警務課保安課高等課刑事課等の各警部補巡查部長の徹底的な取締をなし選挙の公正を期する事となつた

休日を廢止

平郵便局にて
郵便局における休日及び休暇日には郵便物の受付は午

東北に來ぬ

濱口總裁は
（東京電話）濱口民政黨總裁は十日夜上野發仙台市に於ける演説會を皮切りに更に各地に轉戦の筈であつたが數日來の風邪のため九日朝は體温三十七度三にして臥床してゐるので結局仙台福島の遊説豫定を變更し多分十二三日頃出發名古屋方面に轉戦する外なからうなほレコード吹きも既に用意は

出來てゐるが病氣のため已なきに至つてゐる
老婆のい死 石城
郡警崎村字上の湯渡邊さい

益々深刻な……

石城の激戦

木村氏善戦し

氏家氏また進出

第三區は相双より松本（政）氏家（民）山田（中）石城より木村（政）比佐（民）の六氏が既に言論戦を開始必勝を期してゐるが相双二郡の有権者數と石城郡のそれとが匹敵してゐるので何れも同郡に主力を注いでゐるため激戦は免れぬ状態にあり木村氏は五日神谷村を皮切りに大野、赤井、四倉、好間と各町村に遊説言論戦を張り人氣を以て迎へられてゐるが民政黨の比佐氏根強き力あり氏家氏亦進出に來つたので木村氏も樂觀を許さず益々奮進すべきであると觀られてゐる

税法の講演

田町八日會で
平町田町青年八日會では十



さつまい粉

材料——さつまい芋（二百匁）白餡（百匁）砂糖（百五十匁）生姜（一個）片栗粉及鹽（少

つのも忘れて語り合ふ事が出來ました、今日は神戸へ吾栗毛を飛ばします（七日朝、大阪驛前東雪旅館にて）

雑夫の怪我

石城郡警崎村大字上湯長谷小野田炭礦雜夫南會津郡八幡村生れ佐藤榮（四）は八日午前十時ころ同炭礦内で專

東海道舌栗毛の

川崎本社長から
大阪から 昨晚大阪放送局で放送を済ませた處へ元平檢事局に在られた梅村馨氏（目下大阪地方裁判所檢事）から電話があり態々宿屋へ訪ねて來られて近所の食堂へ供はれ散々御馳走になりました、そして時のた

華やかな理想から 着實な方面へ進出

之も世相の一反映乎
警中、平商卒業生志望

愈々卒業期も目前に迫つて來たが移り行く時潮の流れに中等學校を巣立つて前途に遠大な望みを囑す若人達が如何なる理想を抱いて彼方の岸に辿らんとしてゐるか平商業及縣立警城中學校卒業生の志望別によつて之を鑑別すると

▲商業學校は正に實業本位の人材養成に主力を注いでゐるだけあつて五十二名の卒業生が何れも學窓

來せる傾向も窺はれる其主たるものは鐵道及其他官衙主として鐵道の十二名及炭礦會社の三名で前年と全く反比例を示し後者は炭礦界不振の齟らした結果殆んど志望者を皆無たらしめたものの如く見られてゐるが、之れに引換へ鐵道員は生活の安定以外各種の方法により家族の慰安救護等に迄最善を盡されてゐる關係上斯かる傾向が濃厚になつたのだらうといふ校當局では見てゐた▲警城中學校百五十七名の進學希望傾向はさうであるか現在決定せるものの中に幾分

の變更されるものは免れまいが、先づ左記の如くで近來軍人及商業方面の最高府に進まんとする者の殖て來た傾向に殊に著しくなつて來た、商船六師範一〇、高師四、高工一四、高商七、高校二九明大二、高等農林二、外語二、北海道大學水産部一、醫專四、海軍兵學校三、臨時教員養成所四、教員六名、外下高等園藝學校、東亞學文、青山學院、拓殖大學、慈惠醫大、秋田鑛山専門、齒科醫專等其他の各一名宛で進學せずに直に就職せんとするものは官吏二、殖

募集

文藝其他投稿
川崎社長歸平 大阪名古屋等に電話放送旅行中であつた川崎社長は昨夜十二時着の汽車で歸小した